

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 21 年 8 月 20 日(木)	開催時刻	13 時 30 分から 16 時 00 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 21 年度第 5 回)		
出席者	<p>小林会長、白石副会長、浅井委員、安藤委員、池田委員、一之瀬委員、荻原委員、栗俣委員、佐藤委員、塩入委員、田口委員、竹田委員、中村委員、宮本委員、森田委員、安井委員、山極委員</p> <p>(欠席委員) 飯島委員、岡田委員、栗田委員</p> <p>(事務局) 浅野まちづくり協働課地域振興政策幹、小宮山まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査</p>		
<p>会議次第</p> <p>1 開会(浅野まちづくり協働課地域振興政策幹)</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>中央地域と西部地域協議会との合同勉強会を事務局のほうで企画していただいている。「歴史的な資源を、保全活用したまちづくり」ということで、更に発展させていって欲しい。</p> <p>この協議会でもテーマとして取り上げている「地域医療をともに考えるシンポジウム」のパネルディスカッションが開かれるが、飯島委員がコーディネーター役として参加される。ご関心のある方は、是非ご参加いただきたい。本日もよろしくご協力いただきたい。</p> <p>3 会議事項</p> <p>(1) 全体会議</p> <p>上田市総合保健センター施設整備に関する要望について</p> <p>東部地区自治会連合会会長 田口会長より、中央地域協議会へ提出された「協議依頼書」について 説明を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合保健センター施設整備について、休息できる場所や植樹を提案したい。 ・行政で予算等不足が生じた場合、オーナー制を取り入れてもいいのではないか。 <p>【主な質疑等】</p> <p>(委員) 保健センターとスーパーができるのは大変ありがたい。憩いの場所にしたいので賛成だ。</p> <p>(委員) 樹齢数十年のヒマラヤスギが、全部伐採されたのが納得いかなかった。土地の活用については、市との話し合いの中で、緑地として活用して欲しいと申し上</p>			

げた経過もある。北部地区連の中ではハナミズキがいいのではないかと賛同を得ている。

(委員) 保健センターの建設予定地なので、健康も考えて植栽は必要だと考えていた。本数や樹木の種類はこだわらないで、夏は緑が茂るような道にしていきたいと思っている。

(田口東部地区連会長) 本数や樹木の種類については決定しているわけではない。いい環境になるように周囲の事も考えながら、行政のほうで柔軟に計画を立てていただきたい。オーナー制については、協力いただける方がいるようであれば、お願いしてはどうかと考えた。

(委員) 現状では市の方で考えていないということなのか。

(事務局) 健康推進課へ問い合わせたが、公園については公園緑地課が担当になるとのこと。公園緑地課ではまだ白紙の段階ということで、ウォーキングコースの大体の図面と広場や植栽の場所のおおまかな図面はあるが、確定したものではない。

(会長) 市が決定する前に、市民の声を伝えて欲しいという強い意志が感じられるので、協議会としてこれをお受けしてよろしいですか。

(全員) いいです。

(会長) 中央協議会として正式にお受けし、事務局の皆さんと相談の上進めていきたい。

その他

ア.「上田市わがまち魅力アップ応援事業追加申請採択事業一覧表」

について事務局から説明

【主な質疑等】

(委員) 条件付採択というのはどういうものなのか。

(事務局) 協議会からと上田市からの意見を参考に再提出していただく。条件付がついていれば、条件をクリアしていなければ事務局の方で交付申請は受けない。

(委員) 一度不採択にされた事業を、事業者が見直して申請し直し、それが条件付採択になっている。

(事務局) 前回問題になった部分を見直して、再提出してきている。内容も変更してきている。

(委員) 本当に言葉どおりのことができるのか心配だ。

(委員) 魅力アップ応援事業は非常にいい事業だと思うが、実際に活動してきたことに対する反省や結果がはっきり出されていない。事業が完全にできたのか、採択者に結果が示されるべきではないか。

(会長) 事務局側からの検証の機会は作るのか。

(事務局) 各事業の内容を載せた冊子を作るように進めている。事業報告をどうす

るかについては、各地域協議会で検討して欲しい。

(委員) 採択したら、結果報告も必要だと思う。

(事務局) イベントのときに多くの皆さんに見ていただいて、実際どうだったのか、検証しなければいけない。委員の皆さんが 1 人でも参加していたら、それを協議会でご報告いただけるといいと思う。全てを報告するのは難しい。継続事業であれば、次の年度の申請でわかる。事業が実行できない場合は、継続事業でもプレゼンテーションをしていただき、できなかった理由を検証して、採択になるのか不採択になるのか決めていく。

(会長) 事務局としても検討していただけるようだ。各団体やグループにお越しいただき、ご報告していただくようなことも必要ではないかと感じる。

(委員) 一般団体からの応募で、同じメンバーが他の団体として複数提出してくるというのはどうか。団体については事務局のほうで厳しく審査をし、その上でこちらに提出して欲しい。

イ。「雇用・住宅・生活者相談窓口一覧」について (事務局より) 資料参照

(2) 分科会協議

(3) 分科会からの報告

【協議内容】

・第一分科会：歴史的な資源を保全・活用したまちづくり

これまで歴史的資源を北国街道沿いに見て歩いた。それぞれの項目に分け、その中から特に重要視するものはどれか一覧表にまとめてみる。勉強会を 3 回行い、専門家の先生に公演していただく。10 月以降は西部地区の北国街道沿いの主な歴史的資源を見て歩きたいと考えている。地域の文化財でなく、歴史的な資源をいかに保全活用していくか。個人的な家や物が多い中で、行政である程度守っていかないといけないのではないかと考えている。保護する体制作りを今後考えていきたい。北国街道沿いのガイドマップのようなものが作れたらいいと考えている。

・第二分科会：自然環境保護及びごみ減量化問題

これから行う「可燃ごみ減量化へ向けたアンケート調査」の質問の内容について検討した。このアンケートから、中央地域で生ゴミを可燃ごみとして出している人の割合を知りたい。ゴミの減量には生ゴミを堆肥化し、資源として活用することが必要だが、皆さんに生ゴミの堆肥化に協力できるかもお聞きしたい。協力できる方が多ければ、堆肥化施設に向けての施策を市に要求する。協

力できない方が多い場合、その理由を調査し、どのようなPRやアピールをすれば堆肥化やごみ減量に結びつくのか、次の対策につなげていきたい。また、生ゴミの堆肥化には、自家処理するか、生ゴミを集積所に出して回収してもらうかどちらかになると思うが、どちらだったら協力できるのかもお聞きしたい。

4 連絡事項等

- ・次回会議の開催

平成 21 年 9 月 28 日 (月) 開催予定

閉 会